



17

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年8月30日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター



企画「ドキュメント ダイヤモンド・プリンセス号の実相」

9月1日(火)より=1面・社会面

東南アジアを巡って、今年2月、横浜港に帰ってきたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」=写真。船内で多数の新型コロナウイルス感染者が見つかり、世界でも例を見ない大規模な検疫、患

者搬送活動が始まりました。乗客乗員3711人の命をどう救うのか。知られざる関係者の苦悩と奮闘を描きつつ、ここから得られた貴重な教訓について、専門編集委員が連載で伝えます。



「川内康範 親子の情」

9月6日(日)=1面・ストーリー面

大衆文化の功績者で生誕100年を迎えたのは漫画家の長谷川町子だけではありません。月光仮面や数々の歌謡詩を残した川内康範(こう

はん)もその一人。作家、国士…。幾つもの顔を持ちながら素顔は謎でした。生き別れた実子の存在も伏せられてきました。芥川龍之介は言

います。「人生の悲劇の第一幕は、親子となったことに始まっている」。すれ違った父子の悲しみを描きます。

特集 ワイド

不要不急の外
出自に、マス
クの着用―。ス
何かとガマンを
強いられるコロ
ナ下は、気持ち
もイライラしが
ちです。こんな
不安な時代に

あっても、穏や
かに生きるには、
どうすればいい
のでしょうか。
少年時代に東京
大空襲を体験し、
今回の自粛期間
中も高座の中止
が相次いだ時、

本を書くなどし
て前向きに過ご
したという落語
家の林家木久扇
さん(82)に、写
真に、今を楽
しむすべを聞き
ます。

「コロナ下 穏やかに生きるには」
落語家・林家木久扇さんに聞く
9月1日(火) 夕刊特集ワイド



被災と交通 9月4日(金)=オピニオン面



豪雨により傾いた線路=熊本県球磨村一勝地で2020年7月12日

毎年のように大規模な自然災害に見舞われる日本列島。そのたびに、鉄道、道路などが被害を受けては、鉄道、バスは不通となります。とりわけ地方の公共交通は、人口減少の影響で維持自体が難し

い状況にある中、そのまま廃線になってしまうような事態も起きています。

災害から「地方の足」をどう守ればいいのか。研究者、当事者らの話に耳を傾けます。

コロナ禍がもたらした新しい生活様式は、世の中のオンライン化を急速に進めました。リアルに集まらないうえに、会議やイベントもオンラインで可能になりました。今後、オンライン化の期待はますます高まり、加えて利便性がさらに求められるでしょう。毎朝当たり前のように届けられる新聞は、オンラインでも楽しめるようになります。「記事情報発信する役」として、利便性をより高めたいと思います。(渡部竜之介)

